

これからの自治会のあり方を考える富岡地区自治会長研修会

富岡地区自治会長研修会が、12月22日、富岡公民館で行われました。

この研修会は、人口減少、少子高齢化社会における自治会のあり方について情報共有し、地域コミュニティ向上の方策などを検討することを目的に、富岡地区自治会連合会が主催。

会場では、県コミュニティ診断士の倉地幸子さんが「少子高齢化における自治会の必要性、あり方について」をテーマに講演し、参加者約60人が耳を傾けていました。



晴れやかに未来を見つめて平成31年成人式



1月13日、美山中央公民館で平成31年成人式を行い、新成人258人が参加しました。

式典では、実行委員の山口華奈さんのピアノ演奏による国歌斉唱の後、恩田航太郎さんと恩田春香さんに続いて市民憲章を唱和。新成人を代表し、久保建人さんと山口華奈さんが「二十歳の誓い」を力強く述べました。

また、式典終了後には、10人の新成人が実行委員となって企画した記念パーティーがあり、新成人は、同級生や恩師と旧交を温めています。

初春のしつらえで茶会&コンサート開催

1月14日、古田紹欽記念館で新春茶会とオカリナコンサートが開かれました。

茶会は、正月花や羽子板で初春らしくしつらえた和室で行われました。

茶道ボランティアの皆さんがお前を披露し、オリジナル和菓子「花結」が抹茶と共に提供されました。

また、医学博士の三牧孝至さんと県生涯学習コーディネーターの松野弘子さんによるオカリナとピアノのコンサートも行われ、時折、楽しい医学トークを交えながら懐かしの名曲の数々が演奏されました。



山の魅力を楽しんで山県さくらコラボカフェ開店



2月4日から14日まで、四国山香りの森公園にあるハーブレンドで、山県さくらコラボカフェが期間限定でオープンしました。

山県さくらコラボカフェは、若い世代を中心に山の魅力を積極的にPRし、観光誘客を図ることを目的に開店。

名山めぐり事業イメージキャラクターの山県さくらをイメージした特別メニューの提供や、山県さくらの関連動画の上映、限定グッズなどの販売が行われました。

多田五百子さん100歳を迎える



1月24日、多田五百子さんが100歳の誕生日を迎えました。

多田さんは、結婚するまで小学校の教師を務め、結婚後は書道を教えていました。長年、民生委員や婦人会長を勤められました。

長生きの秘けつは「自分のことはなんでも自分でしてきたこと」だそうです。

現在は、グループホームに入所しており、当日は、親族や他の入所者と一緒にお誕生日を祝いました。

甲子園で活躍！木更津総合高等学校の野尻さんが市長を表敬訪問



1月4日、高富中学校出身の野尻幸輝さんが市長を表敬訪問しました。

野尻さんは現在、千葉県の木更津総合高等学校の3年生で、第100回全国高校野球選手権大会に出場。第12回 BFA U18アジア野球選手権大会の日本代表にも選出され、大会では一員として活躍しました。

野尻さんは「世界のレベルは高かく、自分はまだまだだと感じた。今後も野球に専念し、プロ野球を目指したい」と抱負を語りました。

間野俊輔さんが全日本U-12サッカー大会出場を報告



12月13日、間野俊輔さん(高富小⑥)がJFA第42回全日本U-12サッカー大会の出場報告に訪れました。

間野さんは「全国大会に行けることがうれしい。全試合1点はとるつもりで全試合に臨み、ベスト16を目指したい」と語りました。

市長は「全国大会に出場できるということは、人生の中で貴重な体験。山県市の代表として全力で頑張ってもらいたい」とエールを送りました。

学校を花でいっぱい！花かざりコンテストで高富中学校が優秀賞を受賞



1月28日、第3回清流の国ぎふ花かざりコンテストで優秀賞を受賞した元田翼さん(高富中①)、丹羽翔也さん(高富中③)、杉浦優斗さん(高富中③)、柴田幸大さん(高富中③)が学校教育課長を表敬訪問しました。

このコンテストは県内全域に花かざりの輪を広げることを目的に開催され、昨年同校は優良賞を受賞しました。

受賞した生徒は「作業中、地域の方が声を掛けてくれることが励みになった」と語りました。

第68回社会を明るくする運動作文コンテスト表彰



1月25日、市役所公室で第68回社会を明るくする運動作文コンテスト入賞者の表彰式が行われました。

このコンテストは、次世代を担う子どもたちが、日常や学校生活の中で体験したことを作文に書くことで、犯罪のない明るい社会を築こうとするこの運動への理解を深めてもらうことを目的に行っています。

コンテストには、優秀賞4人と優良賞9人が入賞し、表彰式当日は10人が出席しました。

たこたこあがれ！富岡保育園児がたこ揚げ



1月24日、みんなのげんき広場で、富岡保育園の年中・年長児61人がたこ揚げを行いました。

この行事は、家庭で行うことが少なくなった伝統の正月遊びを楽しんでもらおうと、毎年恒例で行っているもので、たこには、園児たちが自分で絵を描きました。

この日は風が強く、次々と空高く舞い上がるたこに、園児たちは歓声を上げていました。



平成31年

山県市出初式

1月6日、市役所前みんなのげんき広場で、消防出初式を行い、消防団の皆さんが長年消防業務に尽力したことが認められ表彰を受けました。(継承略)

岐阜県知事表彰

○特別功労章

恩田康雄



○功労章

佐藤博樹 堀田裕紀 玉井 薫

鬼頭靖典 藤垣昌樹 土田教人

木田吉則 横山太一 江川健一

三島 健 宮川智樹 松村俊也

○消防団員優秀家族賞

宇野弘美(達彦) 上野美奈(友裕)

三島幸子(健) 田中祐梨子(正也)

早川香織(智也) 藤森美夏(勇一)

山田千晴(真吾)

一般財団法人岐阜県消防協会会長表彰

○勤労章(15年)

江崎雅教 林 辰也 土田伸也

○功績章

市原俊輔 頼富高志 加藤政道

山田宏幸 玉井伸吾 神原啓志

土田義朗 佐野圭示 白井喬仁

矢口泰孝 辻 謙一 早川宗宏

北村康平 木村英隆 藤田 慎

山田浩喜 荒深孝幸 古田康裕

吉田大作 若原雅樹

山県市長表彰

○勤労章(勤続10年)

佐藤博樹 堀田裕紀 鬼頭靖典

恩田佳幸 横山太樹 藤垣昌樹

上野友裕 三島 健 早川智也

藤森勇一 山田真吾

山県警察署長表彰

○感謝状

秋山智彦 市原俊輔 堀田裕紀

加藤 健 土田教人 佐野智治

白井喬仁 高瀬進矢 澤田治彦

山県市消防協会会長表彰

○勤労章(勤続7年)

加藤 慎 木田多喜男 蔵元孝児

柳瀬 悠 川田 篤 田原 優

市原善典 中川真吾 後藤利洋

大野和彦 山田真靖 矢崎健司

深見弘明 服部慎也 玉井将司

矢島弘太郎 長野 博 横山亮太

棚橋芳隆 高井 龍 矢口泰孝

吉村大志 白井章人 日比野悌明

矢口浩士 新木宏政 藤田友佑

早川智基 小川裕介 藤田貴裕

山田浩喜 服部竜一

○感状表彰

大西智也 桐山貴広 加納滋人

杉田和弘 小関雄太 土田悠作

土井拓夫 武藤慎也 野村英臣

角守 仁 中村大祐 白井啓介

野々村慎治 大野 周 カナルアンザン

洞山彰吾 森脇莊平

○感謝状(第67回岐阜県消防操法大会出場選手)

【第5分団】指揮者 藤垣弘幸

1番員 三井啓徳 2番員 神原義典

3番員 神原啓志

吸管補助員 矢島弘太郎

山県市消防団長表彰(勤続5年)

村橋克司 長江英臣 中村史弥

渡邊直人 中村裕之 岡田幸男

村瀬浩平 恩田洋和 福井崇倫

片田善貴 土田祐太 土田哲也

岡山弘光 佐村考昭 白井貴紀

江崎進也 野々村直之 藤田真司

木村将悟 澤田治彦 笠井宏紀
山本憲司 澤田義樹 長屋輝夫
服部明久



市では随時、消防団を募集しています。市消防団は、市内を10の分団で管轄し、地域に密着した消防団活動を行っています。

自分たちのまちは自分たちで守るといふ郷土愛、ボランティア精神に満ちあふれ、消防防災に興味がある人をお待ちしています。

団総務課

TEL 22-6820

市総合体育館

3月スポーツイベント

市総合体育館 Tel.22-6622

3日(日)	山県市体育協会会長杯 小学生バレーボール交流大会
10日(日)	岐阜県ヤングクラブバレーボール大会
16日(土)	東海高校バレーボール選抜大会 (東海大会男子)
17日(日)	東海高校バレーボール選抜大会 (東海大会男子)
21日(木・祝)	第21回長良川大会中部地区ミニテニス
24日(日)	やまがたバレーボール交流会

夜間休館日 **3月17日(日)**

いちご農園で県内初! 市内唯一のいちご狩り 体験農園「雅」がGLOBAL G.A.P.に認証



2月6日、GLOBAL G.A.P.の認証を受けた「やまがたいちご楽園雅」を経営する(株)大雅の代表取締役江崎雅教さんが、報告のために市長を表敬訪問しました。

GAPは農産物汚染、農薬や肥料の不適切な使用による環境汚染、農作業事故などを未然に防ぐための農業生産工程管理のことで、GLOBAL G.A.P.は、オリンピックの食材調達基準にもなっている世界的な基準です。

(株)大雅は、国の「地域経済循環創造事業」により整備されたいちご農園で、いちご農園の認証は今回が県内初となります。

— 連載 —

山県市の 祭りと 民俗芸能

市内には、先人が築き、大切に守ってきた伝統的な祭りや民俗芸能などの無形民俗文化財が多数継承されています。こうした地域の宝である民俗芸能や行事について、「岐阜県山県市無形民俗文化財調査報告書」から紹介します。

園生涯学習課 Tel.22-6845

05 加茂神社大祭 (高富地域 梅原)

■実施日 4月第1土、日曜日

- ・土曜日 神幸祭、神幸渡御行列、着座式
- ・日曜日 還幸式、お渡り、大祭

■実施場所

加茂神社↓当元区(祭り元)↓加茂神社



加茂神社大祭のお渡り(先三前)

由来

加茂神社は、梅原地区9集落の惣氏神で、寛治4(1090)年にこの地が京都の下賀茂社領荘園となったことを契機に創始されたとみられる古社です。梅原荘は、室町時代まで荘園としての役割が続ききました。

行事内容

祭礼は、祭神をお旅所へと移し(遷座)、一日当元区による奉仕を受け、翌日華やかなお渡りにより神社へと戻ります(還幸)。お渡りは、宮司、祭員、氏子総代、当元区の住民や子どもみこしなど100人以上が参加します。行列を華やかに彩る先三前と呼ばれる松、竹、梅、樺の作り物は、いずれも意匠、造形、色彩ともにすぐれ、格式の高さを感じさせます。

神事の途中には、舞の奉納も行われ、その後、餅まきが行われます。

市無形民俗文化財調査報告書は、市内の小中学校、図書館、中央公民館、地区公民館に備えてあります。